

1 まちづくりの主要方針

1 不二越駅周辺における生活関連機能の充実

不二越駅周辺は、安心・快適に歩きながら買い物を楽しむことができる商業空間の形成をはじめとして、地域住民の生活を支える生活関連機能の充実を図ります。

2 地鉄本線等の公共交通の活性化に併せた沿線での生活関連機能の充実

地鉄本線や（都）呉羽町袋線、（都）総曲輪線・（主）富山立山公園線、（都）中老田小泉線等のバス路線沿線の地域は、公共交通沿線での居住を推進する地区として、駅関連施設の整備や駅へのアクセス手段の充実、バス利用の快適性の向上など活性化と併せて、駅やバス停周辺での生活関連機能の充実を進めます。

3 都市基盤の整備による良好な市街地環境の形成

市街地の骨格を形成する道路や、地域住民の憩い、レクリエーションの場となる公園の整備等により、良好な市街地環境の形成を進めます。

4 流杉PAスマートIC周辺の整備

流杉パーキングエリアでは、ETC専用のICの整備や、ICへアクセスする道路を整備したことから、IC周辺では、高速交通条件を活かした土地利用を検討します。

5 常願寺川の自然環境と調和したスポーツ・レクリエーション拠点の形成

地域の自然の骨格である常願寺川の河川環境を保全・整備するとともに、河川敷を活用したスポーツ・レクリエーション拠点の形成を図ります。

2 分野別まちづくりの方針

1 土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活拠点である不二越駅周辺の（都）総曲輪線沿道は、地域商業地区として位置付け、公共交通の活性化や歩行者空間の整備と併せて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・不二越周辺や新庄地区、荒川地区など市街地内の既存工業地は、工業地区として置付け、大規模工場や機械工業等の産業集積を図ります。 ・国道8号と国道41号の結節点に位置する富山問屋センターは、流通業務地区として位置付け、流通業務に関連した店舗や事業所等の誘導を図ります。 ・流杉PAスマートIC周辺での産業立地を検討します。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・地鉄本線以南の市街地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 ・地鉄本線や地鉄不二越・上滝線の駅周辺は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 ・工業地区や流通業務地区周辺の市街地は、複合用途地区として位置付け、工業、流通業務、商業、居住が調和した住宅地として形成します。 ・公共交通沿線居住の推進地区である地鉄本線、地鉄不二越・上滝線沿線、（都）総曲輪線や（都）呉羽町袋線等のバス路線沿線は、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の南側に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・西番、大島、新屋等の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。

2 交通体系の整備方針

道路	<ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路である富山外郭環状道路を整備します。 ・不二越駅周辺では快適な歩行空間を形成します。 ・都市の骨格を形成する道路として、（都）下赤江新庄線、（都）双代線、（都）経堂中間島線を整備します。 ・地区の骨格を形成する道路として、（都）町村線、（都）不二越町秋吉線等を整備します。 ・富山市下富居（下富居～鍋田）地区における新駅へのアクセス道路を整備します。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・地鉄本線の越中荏原駅では、バスとの連携強化やパーク＆ライド駐車場の整備による利用圏の拡大を図ります。 ・都心と連絡するバス路線は、公共交通軸として、バス停上屋の設置等の充実を進め、利便性の向上を図ります。

- ・富山市下富居（下富居～鍋田）地区では、富山操車場跡地の大規模開発にあわせた新駅の整備促進を図ります。

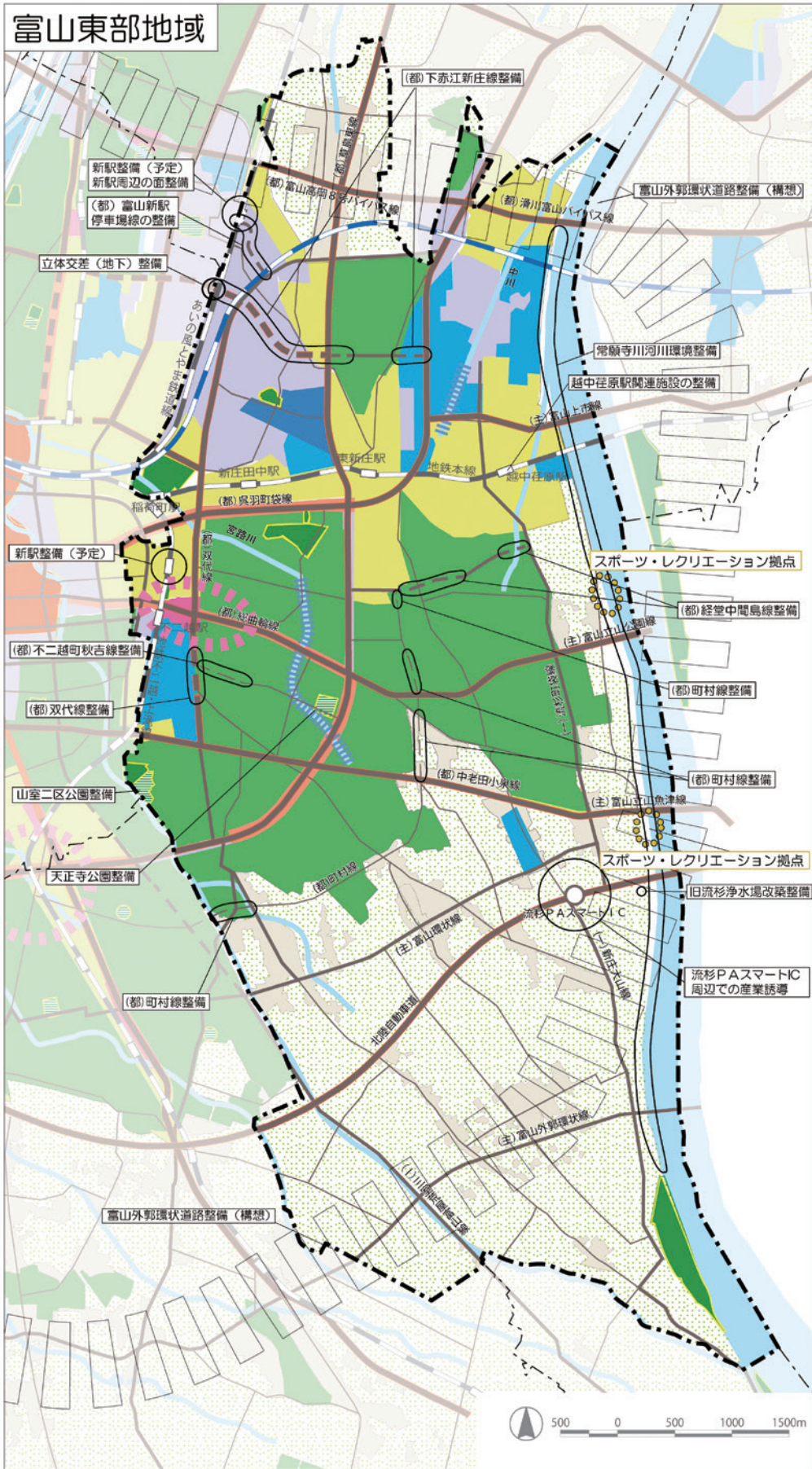
3 みどり・レクリエーションの整備方針

- ・地区公園である山室二区公園及び近隣公園である天正寺公園を整備します。
- ・常願寺川沿いは、河川と一体となった緑地を形成するとともに、河川敷に広がる朝日運動広場や大日運動広場での利便施設の充実により、スポーツ・レクリエーション拠点の形成を図ります。

4 その他都市施設、まちづくりの方針

- ・北陸新幹線整備により分断された市街化区域外縁部では、地区計画による適正な開発の誘導等を図ります。
- ・宮路川や中川では、治水機能の向上を図ります。
- ・現在稼働している旧流杉浄水場は、老朽化が進んでいることから、地震等の災害に強く、安全で信頼性の高い浄水場として改築し、より質の高い水道水の安定供給を図ります。

まちづくり方針図



凡 例	
土地利用	広域商業地区
	地域商業地区
	沿道商業地区
	工業地区
	流通業務地区
	住宅専用地区
	住居地区
	複合用途地区
	農業安全地域
	集落地域
水面	
交通	鉄道
	新幹線
	広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)
	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)
	地区幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
	都市公園
	公園 (今後整備 ※事業中含む)
拠点 地域生活拠点	
境界 地域区分	
河川改修	

1 まちづくりの主要方針

1 水橋の旧市街地における歴史的な街並みの形成と商店街の充実

旧市街地では、漁港のあるまちの雰囲気や蔵等の建物等を活かしながら、特徴のある商業空間を形成するとともに、身近な商業をはじめとした生活関連機能の充実を図ります。

2 水橋漁港等を活かしたレクリエーション拠点の形成

漁港や水辺の資源等を活かし、水橋漁港でのレクリエーション機能の充実に努めるとともに、白岩川での親水性のある水辺空間の整備や、海や水辺を活かしたレクリエーション拠点の形成を図ります。

3 あいの風とやま鉄道線の活性化に併せた水橋駅周辺の居住環境整備

水橋駅周辺は、公共交通沿線での居住を推進する地区として、駅関連施設の整備や駅へのアクセス手段の充実など活性化と併せて、駅周辺での居住環境整備を進めます。

4 骨格的な道路や公園等の整備による良好な市街地環境の形成

市街地の骨格を形成する道路や、地域住民の憩い、レクリエーションの場となる公園の整備等により、良好な市街地環境の形成を進めます。

2 分野別まちづくりの方針

1 土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域生活拠点である水橋中部地区センター周辺は、地域商業地区として位置付け、歴史的な街並みを活かした活性化を図りながら、既存の商店街等を中心に、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常願寺川沿いや（都）滑川富山バイパス線沿道の工業団地は、工業地区として位置付け、医薬品、水産加工物等の大規模工場や機械工業等の産業集積を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域商業地区周辺の市街地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 ・ 水橋駅の北側の市街地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。また、北側と南側を工業地区にはさまれた水橋中村付近の市街地は、一定規模の商業や生産を支えるサービス業が立地可能な住居地区として位置付けます。 ・ 工業地区周辺等は、複合用途地区として位置付け、工業、居住が調和した住宅地として形成します。 ・ 公共交通沿線居住の推進地区である水橋駅周辺及び富山ライトレールに接続するフィーダーバス路線沿線は、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の南側に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・ 水橋小出、水橋小路、水橋清水堂等の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。

2 交通体系の整備方針

- | | |
|-------------|---|
| 道路 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域高規格道路である富山外郭環状道路を整備します。 ・ 都心と滑川方面を結ぶ主要幹線道路である（一）富山滑川魚津線へのアクセス道路として、（都）大正町池田町線、（都）大正町狐塚線を整備します。 |
| 公共交通 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道駅では、バスとの連携強化やパーク＆ライド駐車場の整備による利用圏の拡大を図ります。 ・ 富山ライトレールに接続するフィーダーバス路線は、今後もサービス水準の維持に努めます。 |

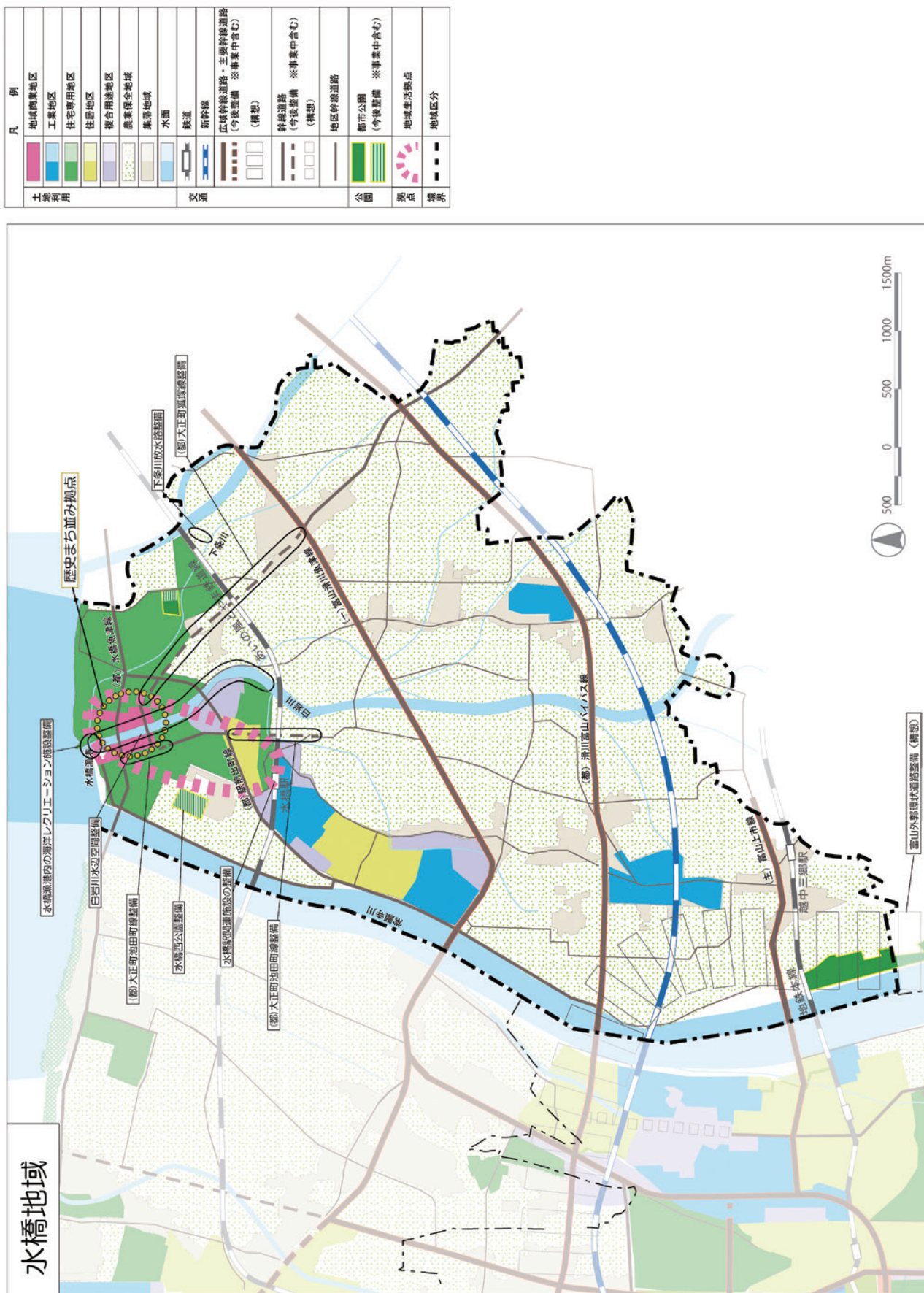
3 みどり・レクリエーションの整備方針

- ・みどりの拠点として水橋西公園を整備します。
- ・白岩川の河口部では、水辺とのふれあいなど親水機能の向上を図ります。
- ・水橋漁港では、プレジャーボート等の収容施設や海と親しめる親水護岸等の整備により、海洋性レクリエーション拠点の形成を図ります。
- ・常願寺川沿いでは、常願寺川緑地を核としてスポーツ活動を主体としたレクリエーション拠点の形成を図ります。

4 その他都市施設、まちづくりの方針

- ・白岩川では、治水機能の向上と河川環境を整備します。また、下条川の治水機能の向上を図るため、上市川への放水路を整備します。

まちづくり方針図



1 まちづくりの主要方針

1 JR高山本線の活性化に併せた笹津駅周辺での地域の顔づくりと駅前商店街の充実

笹津駅周辺は、JR高山本線のサービス水準の向上や駅関連施設の整備、駅へのアクセス手段の充実など活性化と併せて、駅前商店街等を中心に身近な商業をはじめとした生活関連機能の充実を図ります。また、笹津駅周辺の笹津橋と春日温泉郷との一体的な整備等により、集客性と回遊性を高め、賑わいの創出を図ります。

2 公共交通軸となるバス路線の活性化に併せた生活関連機能の充実

都心と連絡するバス路線である国道41号沿道は、公共交通沿線での居住を推進する地区として、バス利用の快適性の向上など活性化と併せて、大沢野行政サービスセンター周辺において地域生活を支える公共公益施設の充実を図ります。また、国道41号と連絡する東西方向の道路整備を進めます。

3 水辺の健康福祉拠点の形成

神通川沿いの春日地区一帯では、春日温泉郷や健康福祉施設等の既存の集積を活かして、福祉と健康づくりを核とした水辺の健康福祉拠点の形成を図ります。

4 自然とのふれあいの場の充実

猿倉山森林公園や寺家公園等の一帯は、豊かな自然環境を保全しながら、自然とのふれあいの場としての充実を図ります。

5 地域高規格道路の整備

都心部及び高山方面との連絡を強化する富山高山連絡道路を整備するとともに、ICと連絡する関連道路を整備します。

2 分野別まちづくりの方針

1 土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活拠点である笹津駅周辺及び大沢野行政サービスセンター周辺は、地域商業地区として位置付けます。笹津駅周辺の駅前商店街を中心とする地区では、公共交通の活性化と併せて、最寄り品小売業等の集積を促進します。大沢野行政サービスセンター周辺では、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> 中大久保地区や高内地区等の既存工業地等は、国道41号へのアクセス性を活かした工業地区として位置付け、医薬品や電子部品、航空機部品などのものづくり産業の育成を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> (都) 中央幹線(国道41号) 背後の市街地は、戸建住宅を中心とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 地域商業地区や工業地区周辺等の住宅地は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 (都) 中央幹線(国道41号) 沿道や工業地区周辺は、複合用途地区として位置付け、沿道施設やサービス機能等と調和した住宅地として形成します。 公共交通沿線居住の推進地区である笹津駅周辺や(都) 中央幹線(国道41号) のバス路線沿線では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の東側と西側に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いのな農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 船峯、春日、塩等の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。 地域の南部に広がる山林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場としての利活用を図ります。

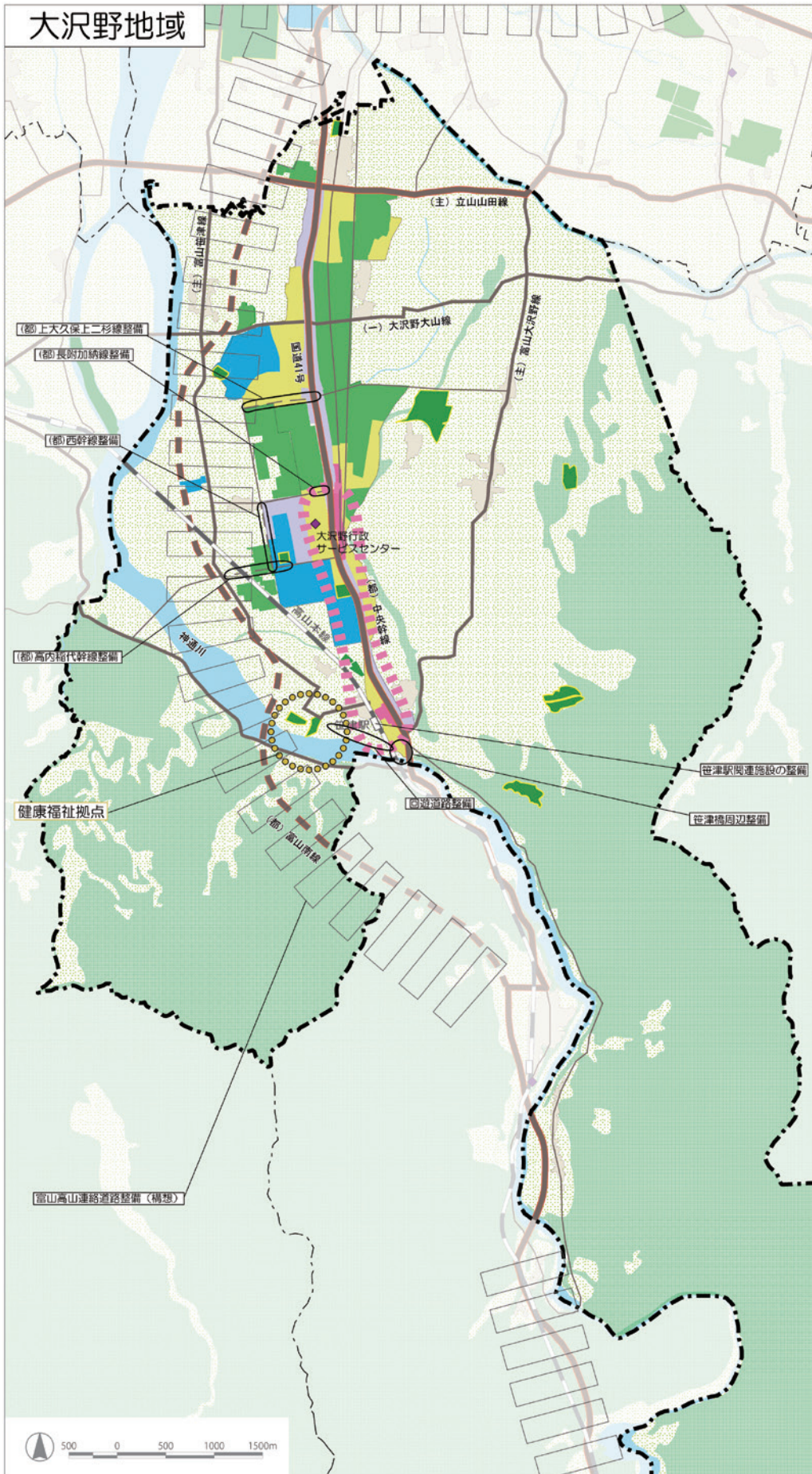
2 交通体系の整備方針

道路	<ul style="list-style-type: none"> 地域高規格道路である富山高山連絡道路を整備するとともに、ICへ連絡する道路を整備します。 (都) 中央幹線(国道41号) へのアクセス性を高めるとともに、市街地の骨格的な道路として(都) 西幹線や(都) 長附加納線等を整備します。 笹津駅と春日温泉を結ぶ回遊道路を整備することにより、快適な歩行空間を形成します。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> 笹津駅では、バスとの連携強化やパーク&ライド駐車場の整備による利用圏の拡大を図ります。 都心と連絡するバス路線(国道41号) は、公共交通軸としての充実を進め、利便性の向上を図ります。

3 その他都市施設、まちづくりの方針

- ・国登録有形文化財に指定された笹津橋の周辺は休憩施設等を整備するとともに、春日温泉郷を一体とした観光の振興を図ります。

まちづくり方針図



凡 例		
土地利用	地域商業地区	
	工業地区	
	住宅専用地区	
	住居地区	
	複合用途地区	
	農業保全地域	
	集落地域	
交通	鉄道	
	広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想: 広域幹線道路)	
	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)	
	地区幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)	
	公園	都市公園
		(今後整備 ※事業中含む)
	地点	地域生活拠点
境界	地域区分	

1 まちづくりの主要方針

1 地鉄不二越・上滝線の活性化に併せた上滝駅周辺の居住環境整備

上滝駅周辺は、公共交通沿線での居住を推進する地区として、地鉄不二越・上滝線のサービス水準の向上や駅関連施設の整備、駅へのアクセス手段の充実など活性化と併せて、駅周辺での居住環境整備を進めます。

2 都心方面をはじめ地域間を連絡する道路の整備

都心部とのつながりを強化するとともに、周辺地域からの来街を誘導するための幹線道路の整備を進めます。

3 大山研究学園都市を核とした学術文化拠点の形成

富山国際大学周辺は、既存の学術文化機能の集積を活かして、教育・研究・研修施設等の誘致など研究学園都市にふさわしい土地利用を誘導します。

4 常願寺川沿いでのスポーツ・レクリエーション拠点及び歴史景観拠点の形成

常願寺川沿いの殿様林緑地や上滝公園、常西合口用水周辺は、一体的な保全・整備を進めながら、スポーツ・レクリエーション拠点の形成を図ります。また、治水に関わる歴史・文化資源を活かして、歴史景観拠点の形成を図ります。

2 分野別まちづくりの方針

1 土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活拠点である上滝駅周辺は、地域商業地区として位置付け、駅周辺及び駅前商店街を中心に、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・田園空間や河川空間に接する市街地の縁辺部は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 ・地鉄不二越・上滝線の北側や上滝駅南側は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 ・地域商業地区と大川寺駅を結ぶ道路の沿道は、複合用途地区として位置付け、商業、居住が調和した住宅地として形成します。 ・公共交通沿線居住の推進地区である上滝駅や大川寺駅の周辺は、公共交通の活性化と併せて、上滝北地区の面整備を誘導しながら、居住の推進を図ります。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の北西部に位置する農地は、農業保全地域として、虫食い的な農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・大庄地区、東福沢地区、大山上野等の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。 ・地域の南部に広がる山林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場としての利活用を図ります。

2 交通体系の整備方針

道路	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前の商店街通りである（都）上滝駅前線は、賑わいの軸として整備します。 ・都心方面や周辺地域と連絡する（一）上滝山室線を整備します。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・上滝駅は、バスとの連携強化やパーク＆ライド駐車場の整備による利用圏の拡大を図ります。また、大川寺駅での駅関連施設の整備を図ります。 ・大山コミュニティバスの再編など効率化を図りながら、生活を支える公共交通サービス機能の維持に努めます。

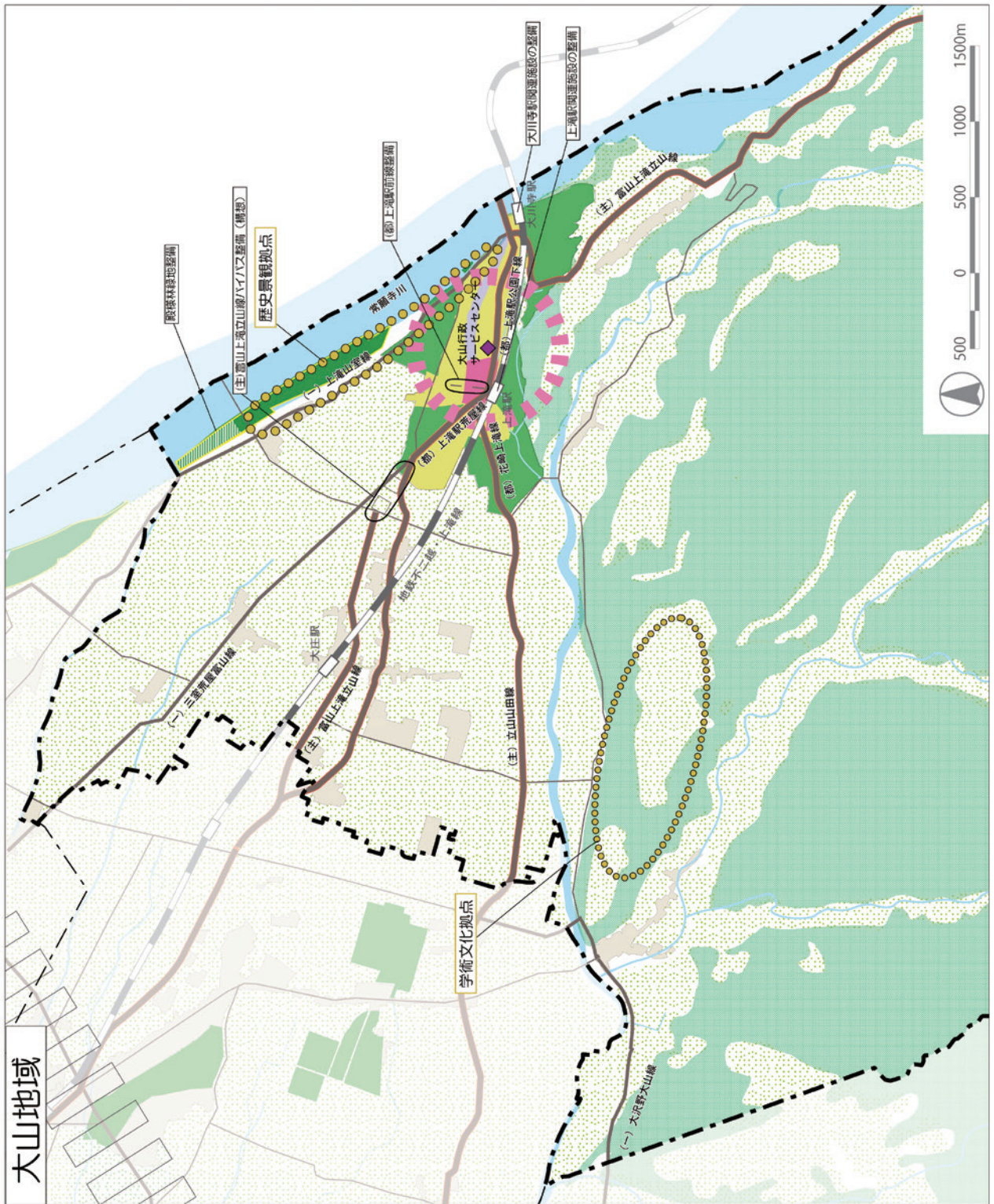
3 みどり・レクリエーションの整備方針

- ・殿様林緑地は、みどりの拠点及びスポーツ活動を主体としたレクリエーション拠点としての形成を図ります。
- ・地域の憩いの場であり、良好な水辺景観を形成している常西合口用水沿いの松・桜並木等の保全を図ります。
- ・立山山麓や有峰湖周辺では、観光・交流機能の充実を進めながら、地域資源を活かしたレクリエーション拠点の形成に努めます。

4 その他都市施設、まちづくりの方針

- ・ 三室荒屋及び中滝地区では、区画整理の誘導により、農地の宅地化と道路等の都市基盤を面的・一体的に整備します。
- ・ 常願寺川沿いでは、佐々堤や太田閘門、殿様林など治水に関わる歴史・文化資源を保全・整備することにより、歴史景観拠点としての形成を図ります。
- ・ 常願寺川上流域における砂防事業の促進により、集中豪雨に伴う土砂災害の防止を図ります。
- ・ 富山国際大学や職藝学院等の集積を活かした教育機能や関連施設等の充実により、学術文化拠点としての形成を図ります。

まちづくり方針図



凡 例	
地域商業地区	緑色の塗りつぶし
住宅専用地区	薄緑色の塗りつぶし
住居地区	淡緑色の塗りつぶし
複合用途地区	黄緑色の塗りつぶし
農業保全地域	点状の塗りつぶし
集落地域	茶色の塗りつぶし
森林環境保全地域	緑色の点状塗りつぶし
水面	水色の塗りつぶし
交通	線
主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)	太い黒線
(構想)	細い黒線
幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)	太い黒線
(構想)	細い黒線
地区幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)	太い黒線
(構想)	細い黒線
公園	緑色の塗りつぶし
都市公園 (今後整備 ※事業中含む)	緑色の塗りつぶし
公園	緑色の塗りつぶし
拠点	黄色の塗りつぶし
境界	黒い点線

大山地域

1 まちづくりの主要方針

1 地域の顔となる旧町地区での歴史景観拠点の形成

旧町地区では、歴史的街並みや石垣景観の保全・継承を図り、歴史性や地形条件など八尾らしさを活かした歴史景観拠点としての形成を図ります。

また、歴史的景観とともに山林等の自然景観や周辺の教育文化施設を回遊して楽しむことができるよう、歴史的街並みと調和した基盤整備を進めます。

2 JR高山本線の活性化に併せた越中八尾駅周辺での居住環境整備

越中八尾駅周辺は、JR高山本線のサービス水準の向上や駅関連施設の整備、駅へのアクセス手段の充実など活性化と併せて、駅前商店街等での身近な商業など生活関連機能の充実や、骨格となる道路網の整備など居住環境整備を進めます。また、ウッドタウン上野かざみ台に代表される八尾型の住宅づくりを促進し、八尾らしい住宅地景観の形成を図ります。

3 富山八尾中核工業団地を核とした先端技術産業拠点の形成

富山八尾中核工業団地は、関連道路の整備によるアクセス性の向上や企業誘致の促進により、先端技術産業拠点としての形成を図ります。

4 井田川を軸とした自然とのふれあいの場づくり

地域の中心部を流れる井田川沿いでは、河川空間の緑の保全・活用や、良好な水辺景観の形成、レクリエーション機能の充実など、自然とのふれあいの場としての環境整備を進めます。

2 分野別まちづくりの方針

1 土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活拠点である越中八尾駅周辺及び旧町地区は、地域商業地区として位置付け、歴史的な街並みを活かしながら、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> 八尾中核工業団地は、工業地区として位置付け、一層の工業振興を支援しながら、先端技術産業等の立地を誘導します。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> 福島周辺の市街地は、住宅専用地区として位置付け、福島上野周辺では、ウッドタウン上野かざみ台などの戸建住宅を主体とした良好な住環境の形成を図ります。 旧町周辺の市街地は、住居地区として位置付け、八尾行政サービスセンターをはじめとした公共公益施設や商業施設の利便性を享受できる住宅地として形成します。 JR高山本線以北の井田川沿いは、複合用途地区として位置付け、工業施設やサービス機能等と調和した住宅地として形成します。 公共交通沿線居住の推進地区である越中八尾駅周辺は、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の北側に位置する水田を主体とした農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 八尾町黒田、八尾町大杉、八尾町高善寺等の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。 地域の南部に広がる山林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場としての利活用を図ります。

2 交通体系の整備方針

- | | |
|------|---|
| 道 路 | <ul style="list-style-type: none"> 周辺地域と連絡する道路として、(主) 富山八尾線、(市) 寺家井田線等を整備します。 旧町地区では、石畳舗装等による街路整備により、歴史的街並みと調和した通りを形成します。 |
| 公共交通 | <ul style="list-style-type: none"> 越中八尾駅では、バスとの連携強化やパーク＆ライド駐車場の整備による利用圏の拡大を図ります。 八尾コミュニティバスの再編など効率化を図りながら、生活を支える公共交通サービス機能の維持に努めます。 |

3 みどり・レクリエーションの整備方針

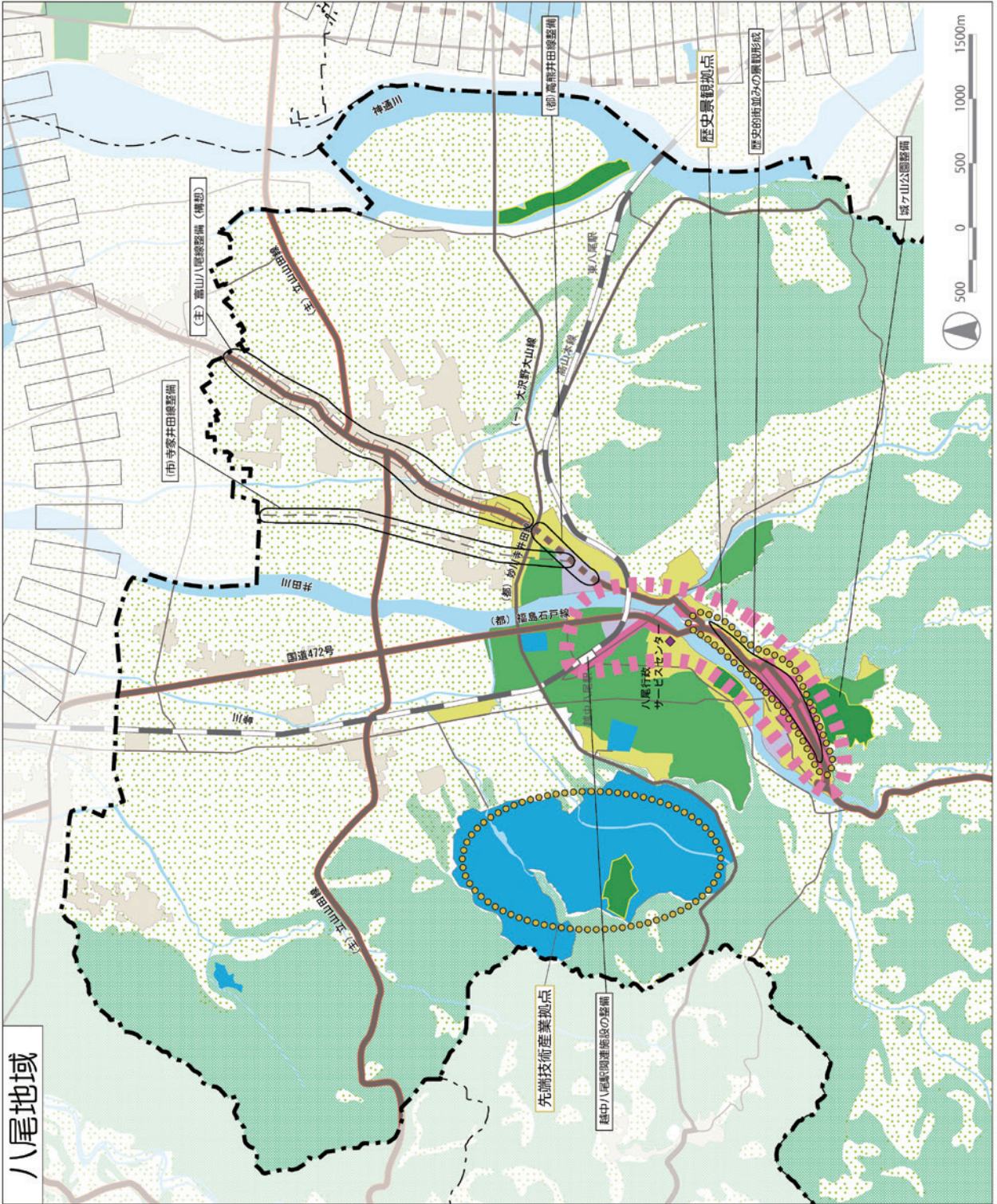
- ・みどりの拠点となる城ヶ山公園を整備します。
- ・神通川沿いでは、神通川水辺プラザを核としたレクリエーション拠点の形成を図ります。
- ・白木峰周辺や久婦須ダム周辺では、観光・交流機能の充実を進めながら、地域資源を活かしたレクリエーション拠点の形成を図ります。

4 その他都市施設、まちづくりの方針

- ・旧町地区は、諏訪町本通りをはじめとした特徴ある街並みや歴史的建造物を活かして、歴史的な街並み景観の形成を図ります。
- ・峠川では、治水機能の向上と河川環境を整備します。
- ・崖崩れ等の斜面地での防災対策として、東町等において、急傾斜地崩壊対策を進めます。

まちづくり方針図

八尾地域



凡 例	
地域商業地区	(黄緑色)
工業地区	(青色)
住宅専用地区	(黄色)
住居地区	(黄緑色)
複合用途地区	(黄緑色)
農業保全地域	(緑色)
集落地域	(黄緑色)
森林環境保全地域	(黄緑色)
水面	(水色)
鉄道	(黒線)
主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)	(太い黒線)
幹線道路	(細い黒線)
地区幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)	(太い黒線)
都市公園 (今後整備 ※事業中含む)	(緑色の点線)
拠点	(赤い点線)
境界	(黒い点線)

1 まちづくりの主要方針

1 JR高山本線の活性化に併せた速星駅周辺での生活関連機能の充実

速星駅周辺では、JR高山本線のサービス水準の向上や駅関連施設の整備、駅へのアクセス手段の充実など活性化と併せて、大規模小売店舗等の商業集積を核とした生活関連機能の充実等を進めます。また、保健センター周辺は、健康・福祉施設等の立地を活かし、健康福祉拠点の形成を図ります。

2 公共交通軸となるバス路線の活性化に併せた良好な住環境の形成

都心部と連絡するバス路線沿線は、公共交通沿線での居住を推進する地区として、バス利用の快適性の向上など活性化と併せて、良好な住環境の形成を図ります。

3 人口増に伴う都市基盤及び公共公益施設の整備充実

人口の増加に対応し、下水道等の都市基盤整備や学校、保育所等の生活関連機能の充実、浸水対策の充実により、良好な住環境の形成を図ります。

4 自然や歴史とのふれあいの場づくり

地域の自然や歴史等の資源を活かして、自然や歴史学習の場づくり、自然公園等の充実を進めるとともに、周辺の自然環境の保全を図ります。

2 分野別まちづくりの方針

1 土地利用の方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域生活拠点である速星駅周辺は、大規模商業施設を核とした広域商業地区として位置付け、買い回り品に加えて、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設も充実した魅力ある商業地区として形成します。
産業系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山空港周辺やJR高山本線沿線の工業団地等は、交通利便性を活かした工業地区として位置付け、製造業や先端技術産業の集積を図ります。
住宅系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 速星駅周辺や（都）塚原羽根線の沿道等を除く市街地は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。 ・ 速星駅周辺や広域商業地区周辺は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。 ・ （都）塚原羽根線の沿道は、複合用途地区として位置付け、沿道の商業機能等と調和した住宅地として形成します。 ・ 公共交通沿線居住の推進地区である速星駅周辺やバス路線の沿線では、公共交通の活性化や生活関連機能の充実と併せて居住の推進を図ります。
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地を取り囲む農地は、農業保全地域として、虫食いのな農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・ 熊野地区、宮川地区、神保地区、音川地区の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。 ・ 地域の西部に広がる山林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場としての利活用を図ります。

2 交通体系の整備方針

道 路

- ・ 地域高規格道路である富山外郭環状道路を整備します。
- ・ 周辺地域と連絡する道路として、（主）富山八尾線を整備します。
- ・ 都市の骨格を形成する道路として、（都）下轡田西本郷線を整備します。

公共交通

- ・ 速星駅では、バスとの連携強化やパーク＆ライド駐車場の整備による利用圏の拡大を図ります。
- ・ 婦中コミュニティバスの再編など効率化を図りながら、生活を支える公共交通サービス機能の維持に努めます。

3 みどり・レクリエーションの整備方針

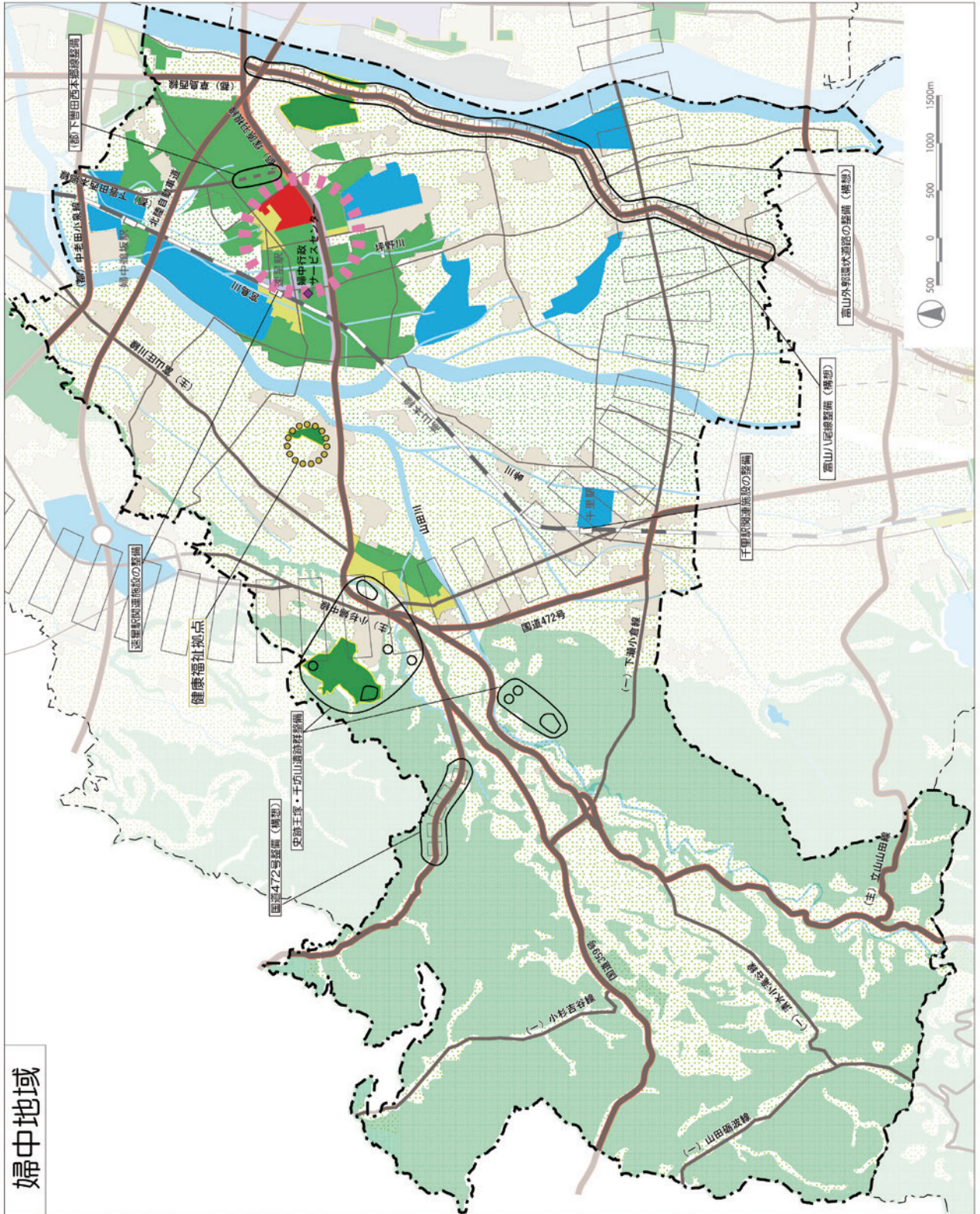
- ・神通川緑地や富山県中央植物園を核として、スポーツや自然学習など多様な余暇活動の需要に応えるレクリエーション拠点の形成を図ります。また、カドミ汚染田の復元事業に伴う残土置場の有効利用を図ります。
- ・史跡王塚・千坊山遺跡群は、史跡の恒久的な保全や、歴史学習の場としての活用に努めます。

4 その他都市施設、まちづくりの方針

- ・宮島川、峠川、坪野川、山田川、赤江川、井田川、田島川、磯川では、治水機能の向上と河川環境を整備します。
- ・土砂災害の防止対策として、友坂地区等での急傾斜地崩壊防止対策等を進めます。
- ・保健センターと羽根地区公園（羽根ピースフル公園）を含む一帯は、健康・福祉機能の充実により、健康福祉拠点としての形成を図ります。

まちづくり方針図

婦中地域



凡 例	
赤色塗り	広域商業地区
オレンジ色塗り	沿道商業地区
緑色塗り	工業地区
黄緑色塗り	住宅専用地区
黄色塗り	住居地区
黄緑色塗り	複合用途地区
淡黄色塗り	農業保全地域
薄緑色塗り	集落地域
薄緑色塗り	森林環境保全地域
水色塗り	水面
黒線	鉄道
赤線	広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想: 広域幹線道路)
茶色線	(構想: 主要幹線道路)
黒点線	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)
茶色点線	地区幹線道路 (今後整備 ※事業中含む)
茶色点線	都市公園等 (今後整備 ※事業中含む)
赤点線	地域生活拠点
黒点線	地域区分

1 まちづくりの主要方針

1 豊かな自然を活かした定住環境の整備

恵まれた自然景観を活かすとともに、地域の生活を支える交通手段の維持・確保や周辺地域と結ぶ骨格的な道路網の整備等により、人口の維持やUターン者等の受入れのための定住環境の整備を図ります。

2 四季を通じて賑わう長期滞在型のレクリエーション拠点の形成

恵まれた自然環境やスキー場、キャンプ場などのレクリエーション施設を活かし、多様な観光客のニーズに対応した滞在交流機能の充実を図るとともに、都市と農山村との交流の促進による地域活性化を進め、長期滞在型のレクリエーション拠点の形成を図ります。

3 牛岳山麓の森林や棚田景観などの豊かな自然環境の保全・継承

牛岳山麓をはじめとする森林や山田川沿いの棚田景観は、災害の防止や特徴的な景観の形成など森林・農地のもつ多面的な機能を踏まえた適切な環境の保全・整備を図るとともに、自然休養の場として、観光との一体的な利用を進め、豊かな自然環境の保全・継承を図ります。

2 分野別まちづくりの方針

1 土地利用の方針

<p>農業・自然系</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域生活拠点である山田中核型地区センター周辺は、生活に密着した商業等の生活関連機能の維持に努めます。 ・ 山田小島周辺では、新たな宅地の造成・分譲を進め、自然を活かした定住環境の形成を図ります。 ・ 山田川沿いに点在する山田湯、山田中瀬、山田中村等の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。 ・ 特徴的な景観を形成している棚田をはじめとした中山間地域に点在する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。 ・ 山林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場としての利活用を図ります。
---------------	---

2 交通体系の整備方針

- 公共交通** ・ 山田コミュニティバスの再編など効率化を図りながら、生活を支える公共交通サービス機能の維持に努めます。

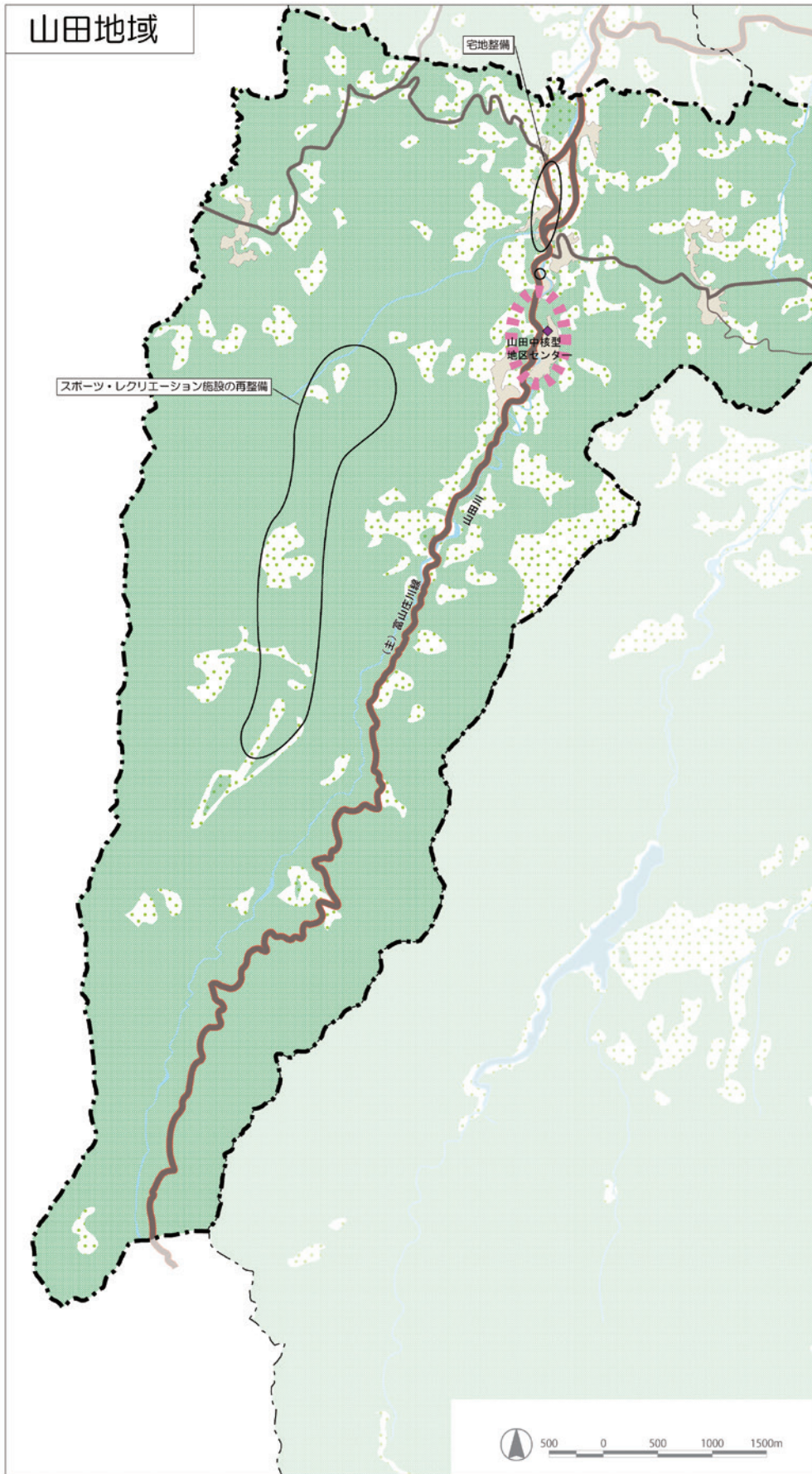
3 みどり・レクリエーションの整備方針

- ・ 牛岳山麓とスキー場、湯谷川ダム周辺を中心としたスポーツ・レクリエーション施設は、機能強化のために再整備します。

4 その他都市施設、まちづくりの方針

- ・ 山田川では、治水機能の向上と河川環境を整備します。
- ・ 山間地での防災対策として、山田川流域の数納地内等での砂防対策や北山地区等での地すべり対策を進めます。

まちづくり方針図



凡 例	
土地 利用	農業保全地域
	集落地域
	森林環境保全地域
	水面
交通	主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)
	幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)
	地区幹線道路
拠点	地域生活拠点
境界	地域区分

第14章

細入地域

1 まちづくりの主要方針

1 JR高山本線の活性化に併せた楡原駅・猪谷駅周辺の生活関連機能の充実

楡原駅及び猪谷駅周辺は、JR高山本線のサービス水準の向上や駅関連施設の整備など活性化と併せて、教育、文化、子育て等の生活関連機能の充実を図ります。また、楡原駅周辺において、豊かな自然環境と駅への近接性等を活かした定住環境の整備を図ります。

2 神通峡の峡谷美等の自然とふれあう観光・レクリエーション拠点の形成

県定公園神通峡等に代表される自然環境や、旧飛騨街道に由来する歴史文化性、割山森林公園はじめとしたレクリエーション施設を活かし、水と緑の自然環境を身近に体験できる観光・レクリエーション拠点の形成を図ります。

3 地域高規格道路の整備

都心部及び高山方面との連絡を強化するとともに、地域住民にとって安全で安心できる道路交通を確保するため、富山高山連絡道路を整備するとともに、ICと連絡する関連道路を整備します。

4 飛騨山地に連なる森林などの豊かな自然環境の保全・継承

飛騨山地に連なる森林は、災害の防止や特徴的な景観の形成など森林のもつ多面的な機能を踏まえた適切な森林環境の保全・整備を図るとともに、自然休養の場として、観光との一体的な利用を進め、豊かな自然環境の保全・継承を図ります。

2 分野別まちづくりの方針

1 土地利用の方針

農業・ 自然系	<ul style="list-style-type: none">・地域生活拠点である楡原駅周辺は、公共公益施設など生活関連機能の充実に努めます。・楡原駅北側の駅徒歩圏では、周辺の自然環境や鉄道利便性、生活関連機能の集積を活かした定住環境の形成を図ります。・国道41号の沿道に点在する楡原、庵谷、猪谷等の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。・点在する集落の周辺に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。・山林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場としての利活用を図ります。
------------	---

2 交通体系の整備方針

道 路	・地域高規格道路である富山高山連絡道路を整備するとともに、ICへ連絡する道路を整備します。
公共交通	・猪谷駅や楡原駅では、駅関連施設の整備を進めます。

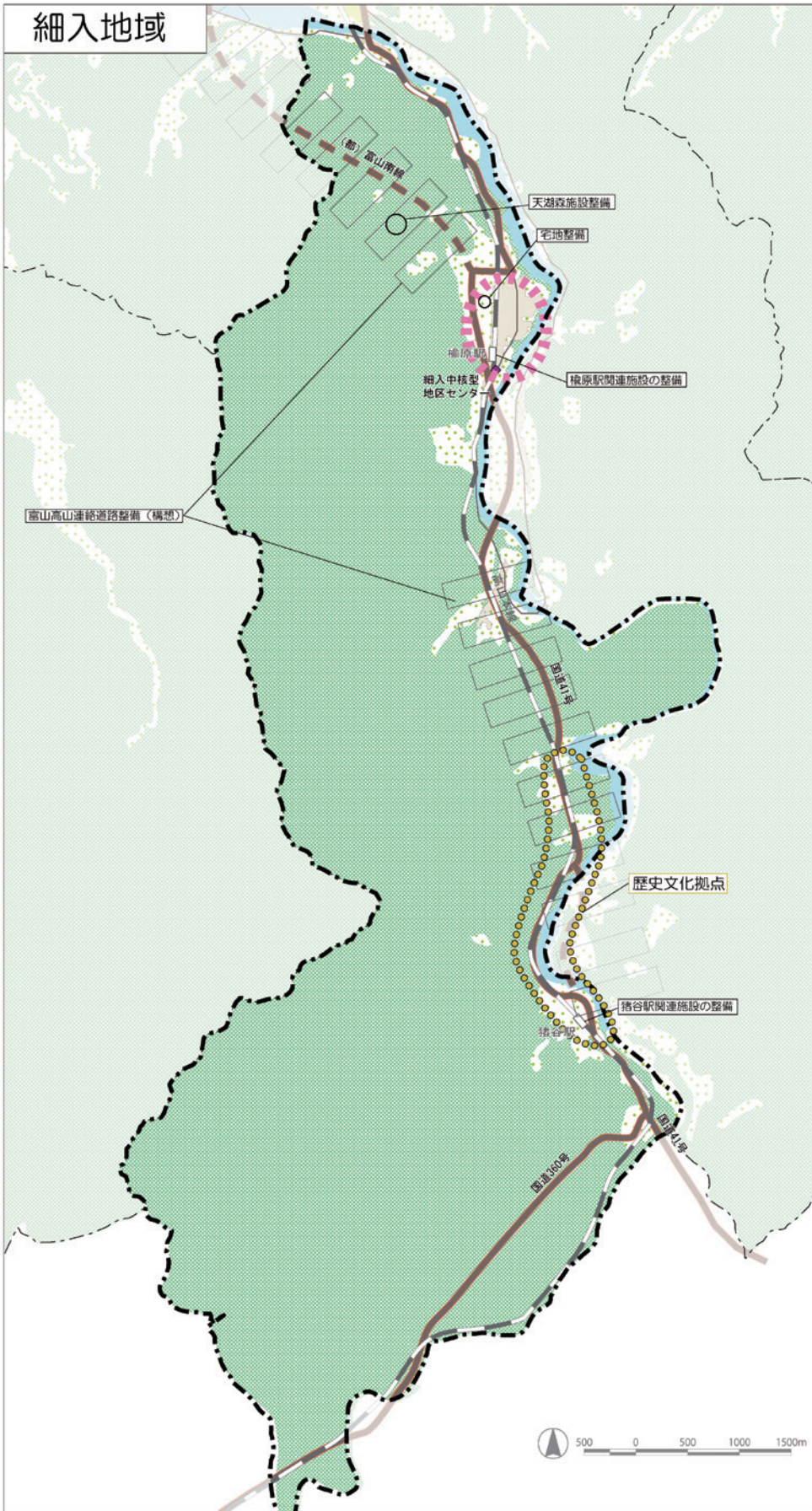
3 みどり・レクリエーションの整備方針

- ・割山森林公園（天湖森）や岩稲ふれあいセンター（楽今日館）など交流施設の整備により、神通峡の豊かな自然を活かしたレクリエーション拠点の形成を図ります。

4 その他都市施設、まちづくりの方針

- ・旧飛騨街道や猪谷関所館などの歴史文化資源を活かし、観光と連携した歴史文化拠点の形成を図ります。

まちづくり方針図



凡 例	
土地利用	住居地区
	農業保全地域
	集落地域
交通	森林環境保全地域
	水面
拠点	鉄道
	広域幹線道路・主要幹線道路 (今後整備 ※事業中含む) (構想)
	地区幹線道路
	地域生活拠点
境界	地域区分

